令和7年度大規模輸出産地モデル形成等支援事業事例

事業実施主体：秋田県
品目　　：ねぎ、りんご

	令和6年度	令和7年度	前年比
輸出額	約118億円	約363億円	**308%**
輸出量	約2.0トン	約4.8トン	**240%**





（左）仙台空港を利用した実証試験の様子　（右）温度測定ロガー

課題	取組	成果
【ねぎ】病害発生による収量・品質低下 ✓ 夏季の腐敗性病害発生で収量・品質低下 ✓ 台湾、タイへの輸出拡大に向けて安定した生産・供給体制の確立が必要	**排水改善と施肥管理の最適化** ✓ サブソイラによるほ場の排水性向上 ✓ 減肥栽培試験の実施	**収量向上・生産コストの低減** ✓ 収量が33%増加 ✓ 細菌性病害の発生を10%以上低減 ✓ 施肥量を20%削減
【りんご】残留農薬基準への対応 ✓ 台湾の規制に対応した防除体系の確立	**代替農薬の実証** ✓ 残留農薬基準値が不検出に設定されているダニ剤の代替薬剤を検討（県内3箇所）	**輸出基準を満たす栽培技術を確立** ✓ ハダニの発生を抑制 ✓ 残留農薬基準をクリア ✓ 輸出規制に対応可能な防除体系を確立
品質を維持した効率的な物流体制の構築 ✓ 品質を維持しつつ物流コストの低減が必要 ✓ 安定的なコールドチェーンの確立が課題	**最適輸出ルートの実証** ✓ 空輸/海運の4ルートで輸送試験を実施 ✓ RFID温度ロガーを活用し品質・コストを比較検証	**最適な物流ルートの情報蓄積** ✓ 仙台空港ルートで安定したコールドチェーンを確認 ✓ 輸送条件に応じた最適な物流体制の構築に向けた知見を取得